イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。

Daiichi-Sankyo

日本医薬品登録販売者会

「外用鎮痛消炎薬について」

本資料は学術宣伝用資料のため、店頭POPならびにチラシ・広告・接客用としてお使いにならないでください。

第一三共ヘルスケア（株）

Fit for You
健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ

■痛みとは

「実際に何らかの組織損傷が起こった時、あるいは組織損傷が起こりそうな時、あるいはそのような損傷の際に表現されるような、不快な感覚体験および情動体験」を定義としている。

⇒**体に損傷が起こったこと、あるいは起こった可能性があることを知らせる不快な感覚**。

【痛みの分類】

痛み

【体性痛】
皮膚や骨、関節、筋肉、結合組織といった体性組織への、
切る、刺すなどの**機械的刺激**が原因で発生する痛み。



【内臓痛】
食道、胃、小腸、大腸などの**管腔臓器の炎症や閉塞**、
肝臓や腎臓、膵臓などの炎症や腫瘍による圧迫、
臓器被膜の急激な伸展が原因で発生する痛み。

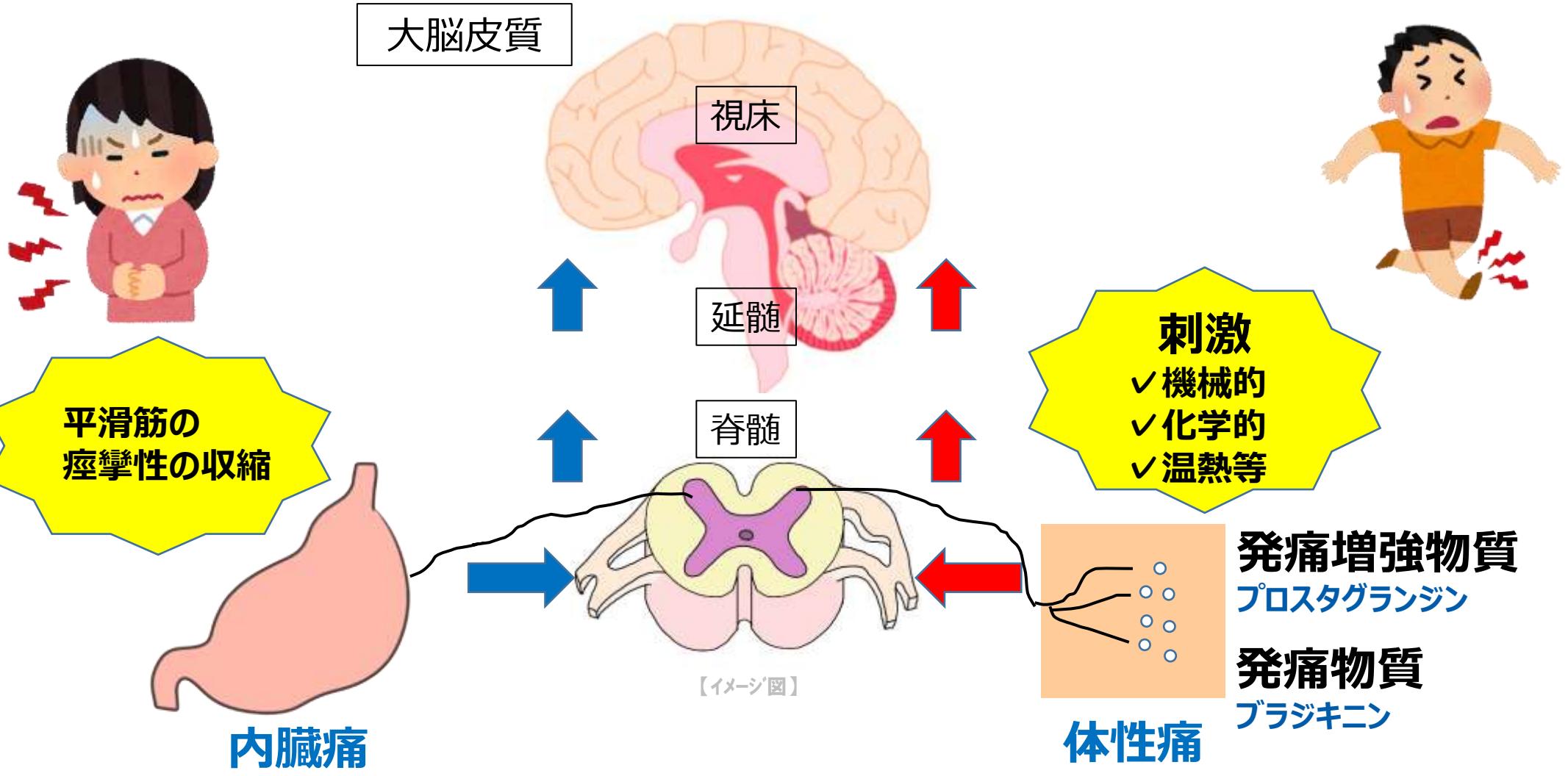


【神経障害性疼痛】
末梢、中枢神経の直接的損傷に伴って発生する痛み。



出典：日本緩和医療学会
http://www.jspm.ne.jp/

■体性痛と内臓痛

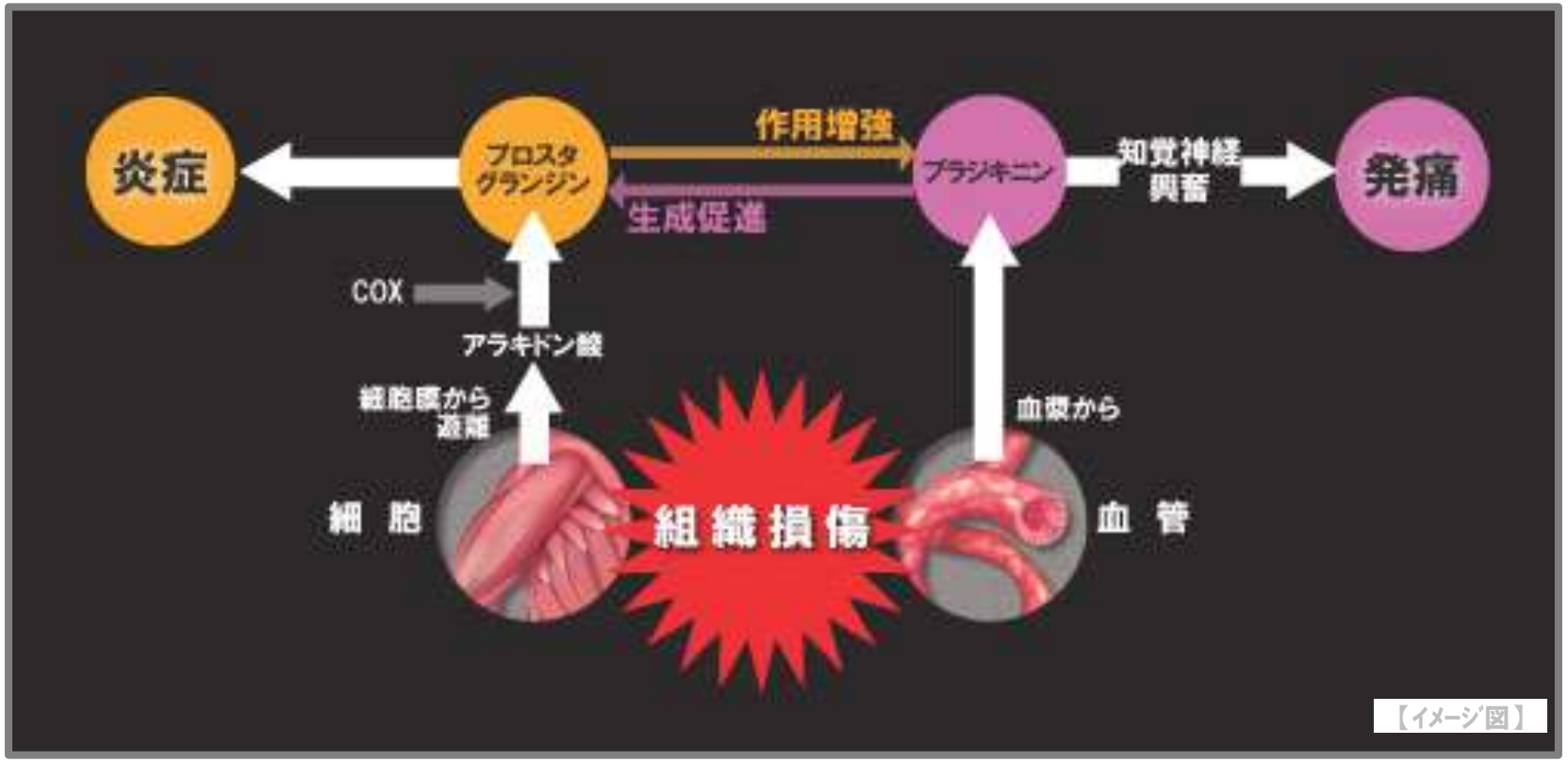


・広範囲の鈍い痛み。
・部位がはっきりしない。

・鋭い痛み。
・部位がはっきりしている。

■ブラジキニンとプロスタグランジン

組織が損傷を受けると、**プロスタグランジン**が生成される。この作用によって引き起こされる「**痛み、熱、腫れ**」などが引き起こされる現象を**炎症**という。
一方、組織損傷時に血漿から遊離した**ブラジキニン**は、**知覚神経を興奮させる**ことにより、痛みを発生させる。**プロスタグランジンは、ブラジキニンと比較して直接的な発痛作用は弱いが、ブラジキニンによる発痛を増強させる。**この様に疼痛は両者の関わりから起こる。



出典：日本ケミファ株式会社
https://www.nc-medical.com/deteil/pain/pain_03.html

■炎症の４徴候

炎症は生体が傷害を受けた際に起こす反応。細胞や組織が傷害された際にこれを取り除いて再生するための反応で、**生体にとっては防御的なもの**。

炎症の４徴候	特徴
発赤(赤くなる)	炎症部位の**血管が拡張**し、血流量が増えることによって赤くなる。
発熱(熱が出る)	脳内に存在する体温調節する部位（**体温調節中枢**）に働き、体の熱を上げるように作用する。
腫脹(腫れる)	炎症が起こっている部位に**体液**などが流れ込み、腫れてしまう症状。
疼痛(痛みがある)	炎症部位では**痛み物質**が産生され、脳で痛みを感じやすくさせる。

機能障害 **(例：痛くて腕を動かせない)**	上記４つの症状によって体に障害が起こる。

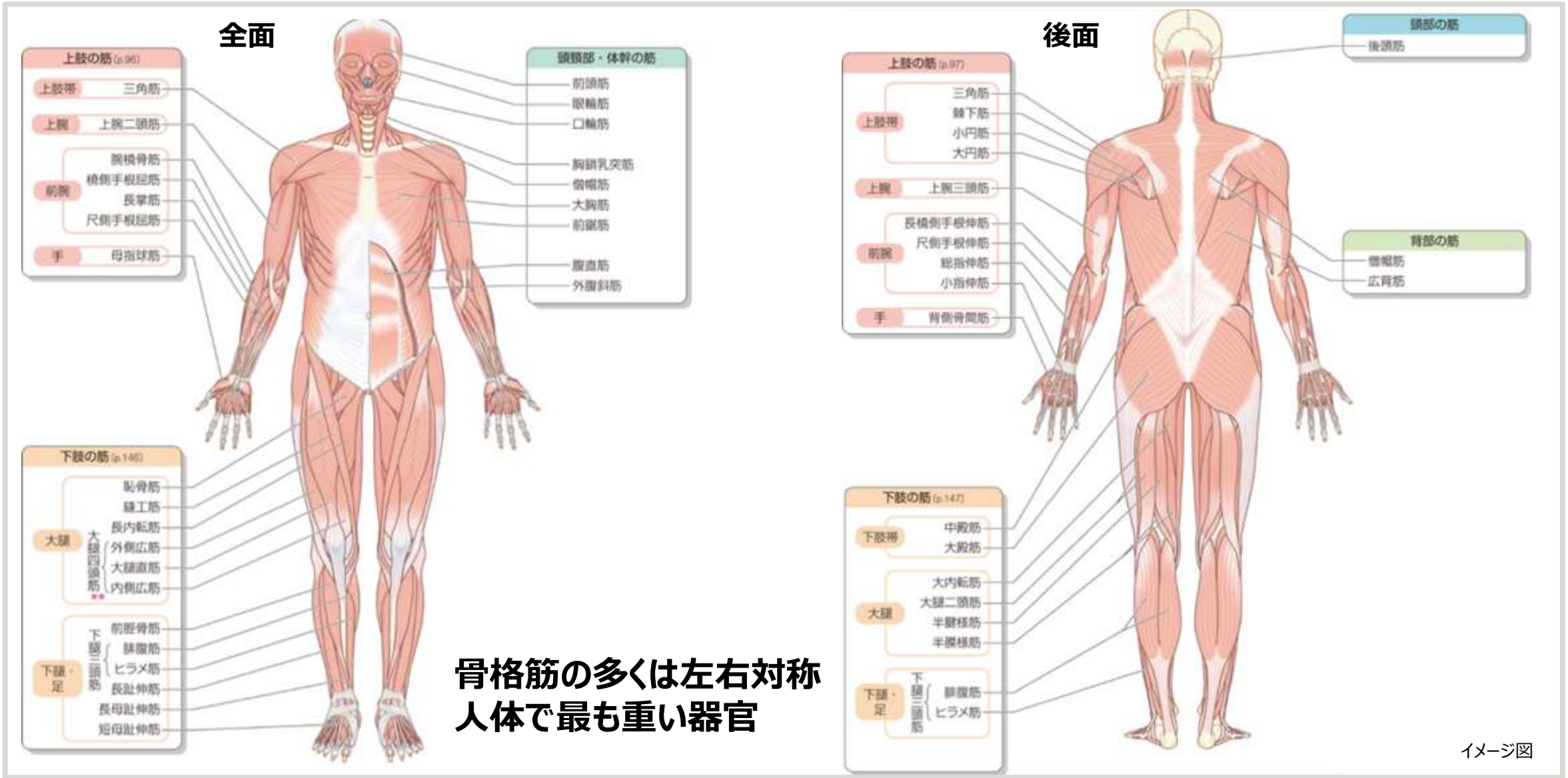
■筋肉

筋肉は、収縮運動により身体や臓器の運動を担う器官。たくさんの**筋繊維**からできている。
筋繊維の種類によって、筋肉は**骨格筋**、**平滑筋**、**心筋**の3つに大きく分けられる。

分類	**骨格筋** 	**心筋** 	**平滑筋** 
機能	体全体、手足を動かす時に使われる筋肉	心臓を動かす筋肉	血管、消化管、気管支壁などを主として内臓にある
所在	骨格	心臓	主として内臓
筋組織	横紋筋	横紋筋	平滑筋
収縮	**随意**	**不随意**	**不随意**
支配神経	**体性神経**	**自律神経**	**自律神経**

【参考】骨格筋の種類

骨格筋とは、人間が体を動かすときに主体となる筋肉。 **約400種以上**ある。



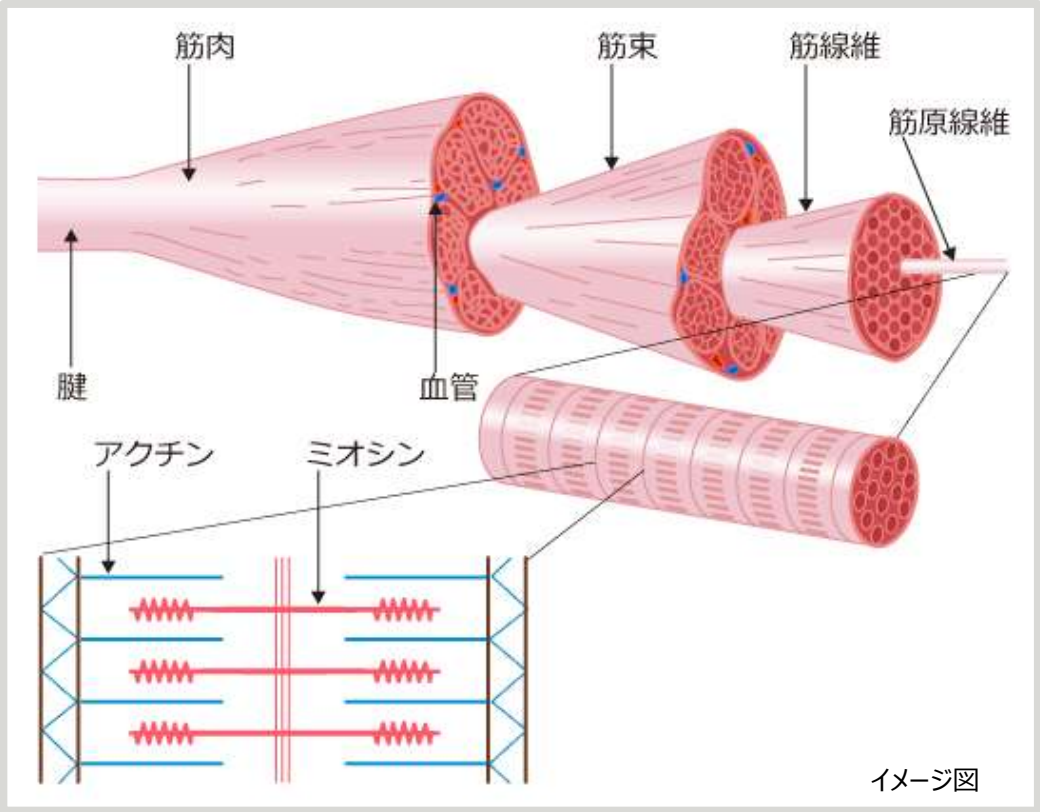
イメージ図

出典：病気がみえるVOL11

■骨格筋

- 骨格筋は**随意筋**のため自分の意思で動かせる。
- 重量は、成人男性では**体重の約1/3**を占めている。
- その主成分はタンパク質で、**ミオシン**という**太い線維**と、**アクチン**という**細い線維**の2種類から成り立つ。　骨格筋には、**収縮速度や構造などの違いから、**「**遅筋**」と「**速筋**」がある。

骨格筋の構造



骨格筋の特徴

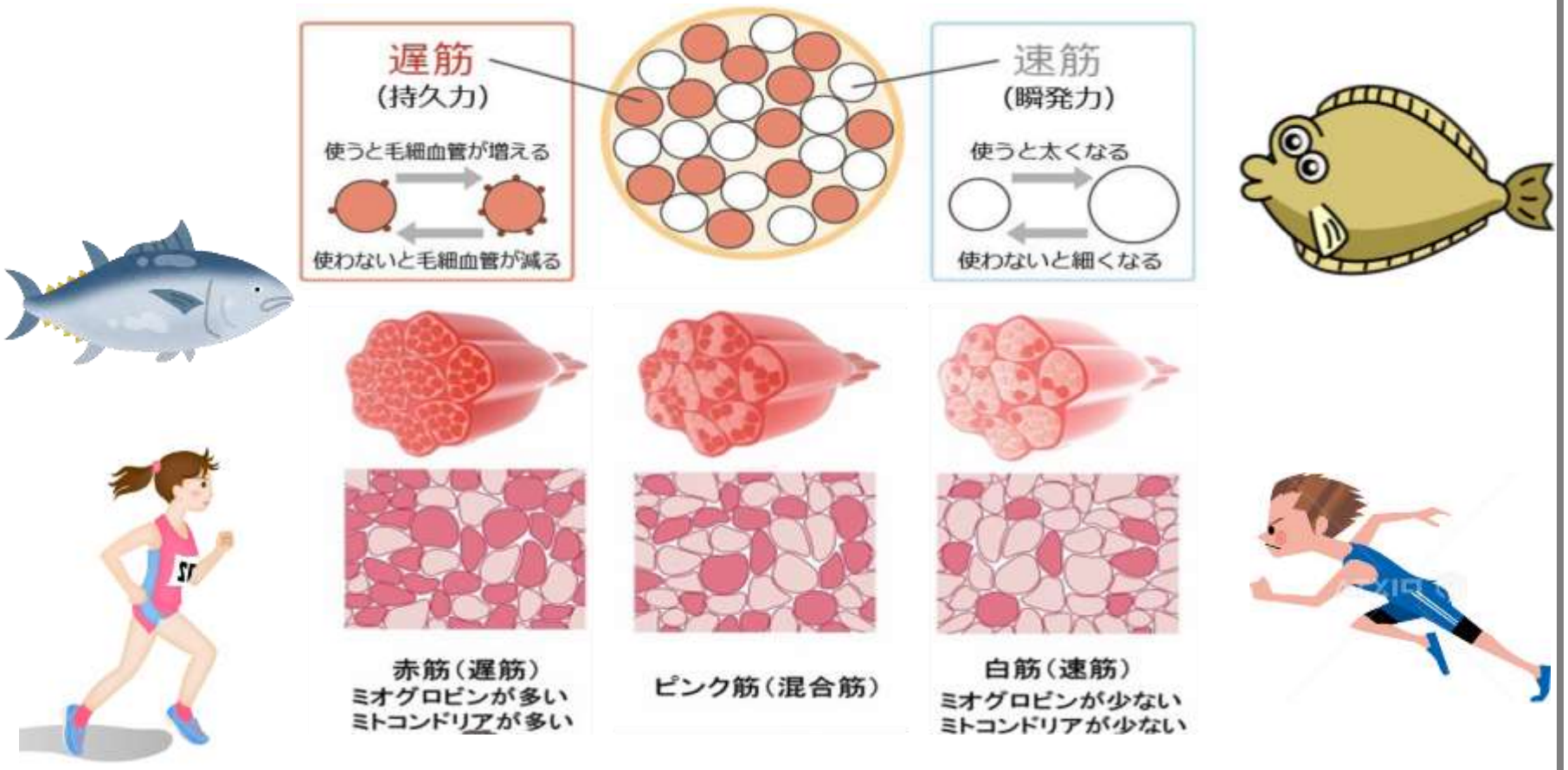
	遅筋	速筋
筋線維の太さ	細い	太い
収縮の速さ	遅い	速い
見かけの色	赤色	白色
疲れやすさ	疲れにくい	疲れやすい
消費エネルギー	脂肪	糖・グリコーゲン
適する運動	持続的な運動 （有酸素運動）	瞬発的な運動 （無酸素運動）

出典：株式会社法研「からだと病気のしくみ図鑑」

【参考】遅筋と速筋

赤筋

白筋



速筋と遅筋は、個人差があり生まれつきや部位でも違う。 イメージ図

【参考】筋肉痛になりやすい運動とは

1）**伸びながら力**を発揮する**エキセントリック**（**伸張性**）運動
　　重い荷物を下ろす、階段を下りるなど

2）**縮みながら力**を発揮する**コンセントリック**（**短縮性**）運動
　　重い荷物を持ち上げる、階段を上るなど

3）**伸縮なく力**を発揮する**アイソメトリック**（**等尺性**）運動
　　腕相撲など



伸縮性運動



短縮性運動



等尺性運動

特に筋肉痛になりやすいのが**エキセントリック運動**。 筋肉を伸ばすときのほうが筋線維への負荷が大きくなるため、損傷が起こりやすくなるからです。

■筋肉痛

筋肉痛とは運動に伴って起こる筋肉の痛み。
一般的には、運動が終わった数時間後から翌日～翌々日、時間を置いて起こる
「**遅発性筋痛**」が、「筋肉痛」と呼ばれている。

「**即発性筋肉痛**」とは？
運動した直後、早ければ運動している最中から起こる筋肉痛をいう。
筋肉が**酸素欠乏に陥ることによって、痛み物質（ブラジキニンやなど）が蓄積する**ことが原因と言われている。

「**年を取ると筋肉痛が遅く出る**」とよく言われるが、**真偽は定かではない。**
最近では「**同じ運動をした後の筋肉痛の出方に、年齢による時間差は見られない**」という報告もある。

年をとると・・・
・若い時には何ともなかった程度の運動でも筋肉痛になること（運動不足）
・運動の種類も年とともに変わること
・血流の循環機能が低下すること　などが関係しているのではないかと考えられている。



出典：くすりと健康の情報局
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/health/

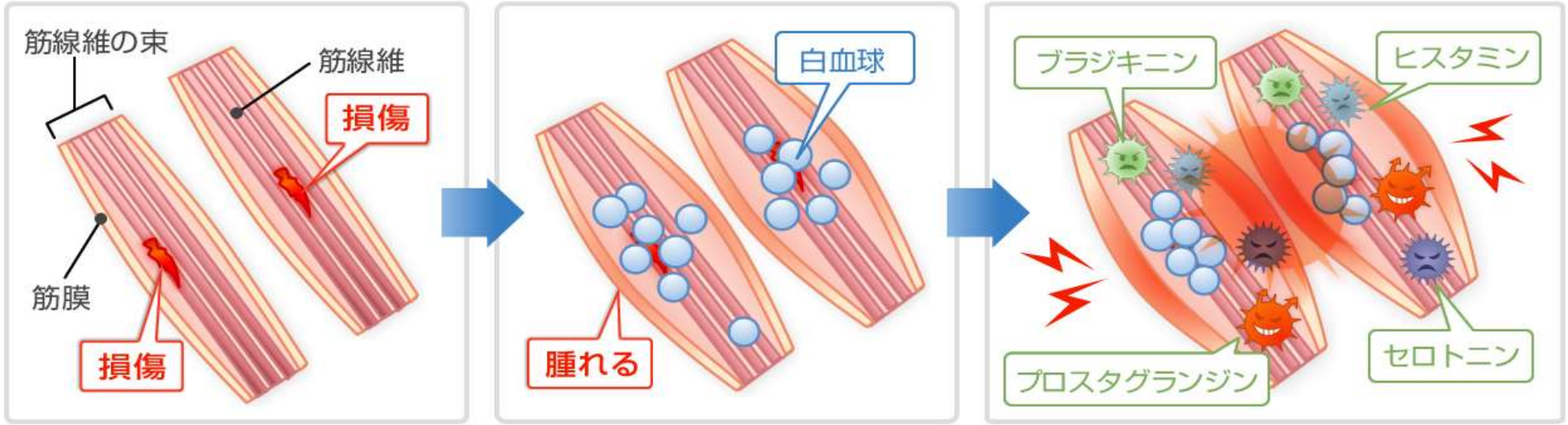
■筋肉痛の原因

筋肉痛のメカニズムは、医学的にははっきりと解明されていない。

説①　筋肉中に疲労物質（**乳酸と同時に作られる水素イオン**）が蓄積し、
筋肉が極度な酸性になると「**痛み**」・「**だるさ**」・「**重み**」を引き起こす。

説②　**運動によって傷ついた筋線維を修復しようとするときに起こる痛み。**

筋肉痛が起こる仕組み



イメージ図

激しい運動などにより、筋線維が損傷を受け、細かい傷ができる。

その傷を修復しようと、白血球が集まり、いわゆる「炎症※」が起きる。

ブラジキニン、ヒスタミン、セロトニン、プロスタグランジンなどの痛みを起こす刺激物質（発痛物質）が生産され、痛みを感じる。

※ここでいう「炎症」とは、炎症を起こす生理活性物質（痛み物質）の放出→血管の拡張、血漿成分滲出、白血球の浸潤などの炎症反応→さらに痛み物質産生→さらに炎症反応増強・・といった一連の生体反応を指します。

出典：くすりと健康の情報局
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/health/

■筋肉痛の対処法

傷ついた筋線維の回復を進めるケアで軽減できることがほとんど。

①筋肉が痛くなり熱を持っていることがある。氷や保冷剤などで**冷やすこと**で、**痛みを伝える神経の伝達速度を抑える**ことができる。　また、**筋肉の炎症を抑える効果**もある。

②**血行をよくする**ため、38℃くらいのぬるめのお湯につかった後、ゆっくりとストレッチをする。

③**筋肉を補修する**たんぱく質とともに、血行促進効果のある**ビタミンC**、**ビタミンE**などを含むバランスのとれた食事を摂る。

④炎症を鎮めるために**外用消炎鎮痛剤**を用いる。

クスリによる消炎鎮痛効果



たんぱく質の多い食品

鶏ささみ、豚肉ヒレ、牛肉ヒレ、まぐろ、かつお、さけ、ぶり、たこ、卵、納豆など

コンビニなどで手軽に食べられるもの

サラダチキン、ゆで卵、魚の缶詰焼き鳥（タレより塩）、スモークチキン
プロセスチーズ、ギリシャヨーグルト
するめ、豆乳

出典：くすりと健康の情報局
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/health/

■外用鎮痛消炎薬に含まれる成分

分　類	成　分	作　　用
鎮痛成分	サリチル酸系、インドメタシン、ケトプロフェン、フェルビナク、ジクロフェナクナトリウム ロキソプロフェンナトリウム	**非ステロイド性抗炎症薬** 痛み・炎症の原因となる「プロスタグランジン」の生成を阻害する。
局所刺激成分	（冷感）l-メントール、dl－カンフル （温感）ノナン酸バニリルアミド トウガラシエキス	穏やかな局所刺激、鎮痛・鎮痒作用 **冷感または温感を与え、痛みをやわらげる。**
抗炎症成分	グリチルリチン酸 グリチルレチン酸	抗炎症作用があり、 肩こりや筋肉痛の炎症を抑える。
抗ヒスタミン成分	クロルフェニラミンマレイン酸塩 ジフェンヒドラミン塩酸塩	アレルギーによるかゆみや炎症を抑える。
生薬成分	オウバク、サンシシ、アルニカチンキ　など	殺菌作用、抗炎症作用がある。
血行改善成分	ビタミンE	血行を改善する。

【参考】筋肉痛軽減のためのセルフケア

運動前後のストレッチ





ぬるめのお湯にゆったりつかる



バランスのとれた食事を摂る

疲労回復をサポートするおすすめ料理

- 豚肉ロース照り焼き丼
- 豚バラ肉のスタミナニラ玉炒め
- 鶏のレバニラ
- 豆腐の生姜あんかけ
- 鶏むね肉ときのこの味噌チーズリゾット
- おかかチーズおむすび

運動後の筋肉痛は、セルフケアで軽減できる場合がほとんど

出典：くすりと健康の情報局
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/health/

■打撲

■ 打撲とは、「**打ち身**」とも呼ばれ転倒して物にぶつかったり、人と衝突したりした際に発生するケガ。

■ **皮膚の表面には傷口がなく、皮下組織や筋（骨）などを損傷している状態。**

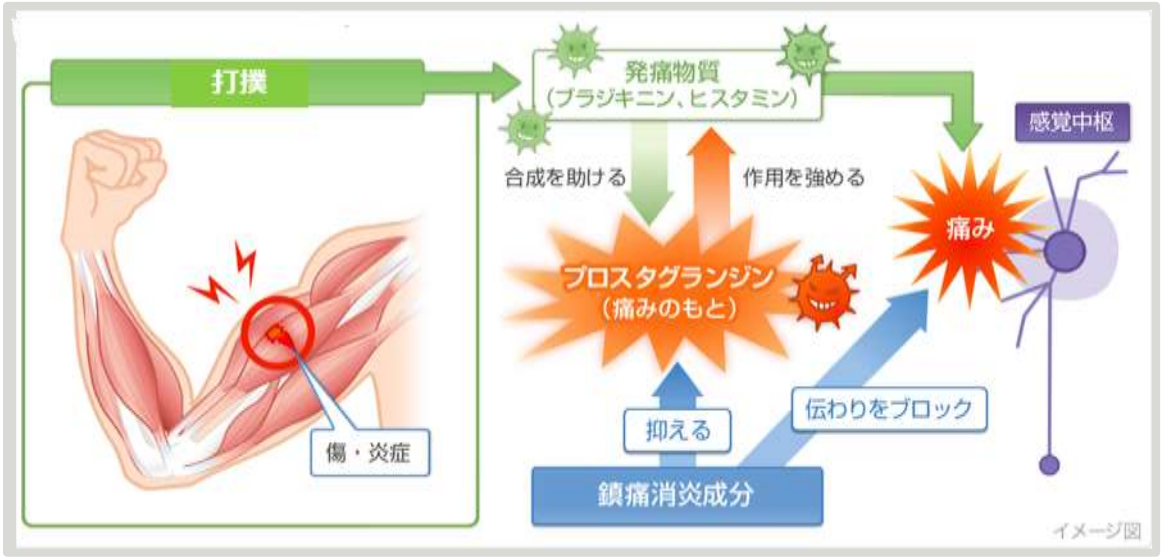
打撲によって現れる症状

- **痛み**
- **腫れ**
- **内出血**
- **たんこぶ（皮下血腫）**



対処法

- ✓ **Rest　・・・安静**
- ✓ **Ice　・・・冷却**
- ✓ **Compression　・・・圧迫**
- ✓ **Elevation　・・・挙上**



特に、打撲したところが**胸**や**頭**、**腹**などであれば、ダメージを体の中の器官が受けている場合も想定されるので、病院での受診を勧める。

出典：くすりと健康の情報局
https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/health/

■パップとテープの違い

パップ剤の特徴

- **厚い**タイプで**水分を約50%**含んでいる。
  大量の水分を抱えている。⇒**冷却効果**に優れ、清涼感がある。
- 肌への刺激が少ない。
- **急性の症状**に適している。
- 一般的にテープ剤に比べて**はがれやすい**。



テープ剤(プラスター剤)の特徴

- **薄い**タイプで**水分を約15%**含んでいる。
- フィットしやすく、**剥がれにくい**。⇒皮膚の弱い方は剥がす時に注意する。
- 薄くて肌色で**目立ちにくい**。
- あまり匂いがない。
- 水分量が少ないので**冷却効果はなく**、**慢性の症状**に適している。



■パップ剤（シップ剤）

冷シップ

＜特徴＞

- 保湿性があり、貼る面がプルプルした感じで、貼ったときからひんやり冷たい感触がある→皮膚の温度を下げる効果がある。
- 炎症を抑える鎮痛消炎薬とメントールなどで清涼感がある。

＜選択の目安＞

- **急性**の**肩こりや腰痛**に適する
- 患部が**腫れて熱をもっている：打ち身や捻挫など**



温シップ

＜特徴＞

- 外見は冷シップと同じで、唐辛子エキスなど温感刺激をもつ成分を含む。
  → ピリピリとした刺激でかゆみが出たり、発疹が出ることもある。



＜選択の目安＞

- **慢性**や**血行不良が原因で肩こりや腰痛**に適する
  急性期で炎症症状のある肩こり、腰痛は最初に冷たいシップ。
  どちらか迷った時は、お風呂に入って痛みが和らぐのであれば、温かいシップを選ぶ。

皮膚の温度は
31℃から33℃へ約2℃上がる。

■塗布剤の剤形特徴

剤型（塗り薬）	選択の目安
クリーム剤	▪ **塗擦**することで**マッサージ効果を得る**ことができる。 ▪ 使用感が良く、べとつかない。 ▪ 塗布面が光らないので腕などの露出部位に適している。
ゲル剤	▪ **伸びがよく、ひざなどの関節部位**に**塗擦**しやすい。 ▪ **ラップ効果**があるといわれ、作用を持続させやすい。
ローション剤	▪ 手を汚さず広範囲に**塗布**しやすい。 ▪ **サラッと乾きやすく、肩や首すじなど見えやすい部位**に使用しやすい。
エアゾール剤	▪ **瞬間冷却や効果の速効性を期待**できる。 ▪ 痛みが広範囲にわたる場合。
チック剤	▪ 透明なゲルを**固形状**にし、手を汚さず患部に太く塗れる。 ▪ べたつきを抑え、すぐにサラサラになるので、その場ですぐ服を着る事が可能。

パップ剤やテープ剤のように長時間の効果は期待出来ない

■ロキソニン 外用薬シリーズ

有効成分「ロキソプロフェンナトリウム水和物」配合

Sシリーズ







OTC ONLY商品





EXシリーズ



冷感成分：**l-メントール**
血行促進成分：**トコフェロール酢酸エステル**



冷感成分：**l-メントール**

S温感シリーズ



温感成分：**ノナン酸バニリルアミド**

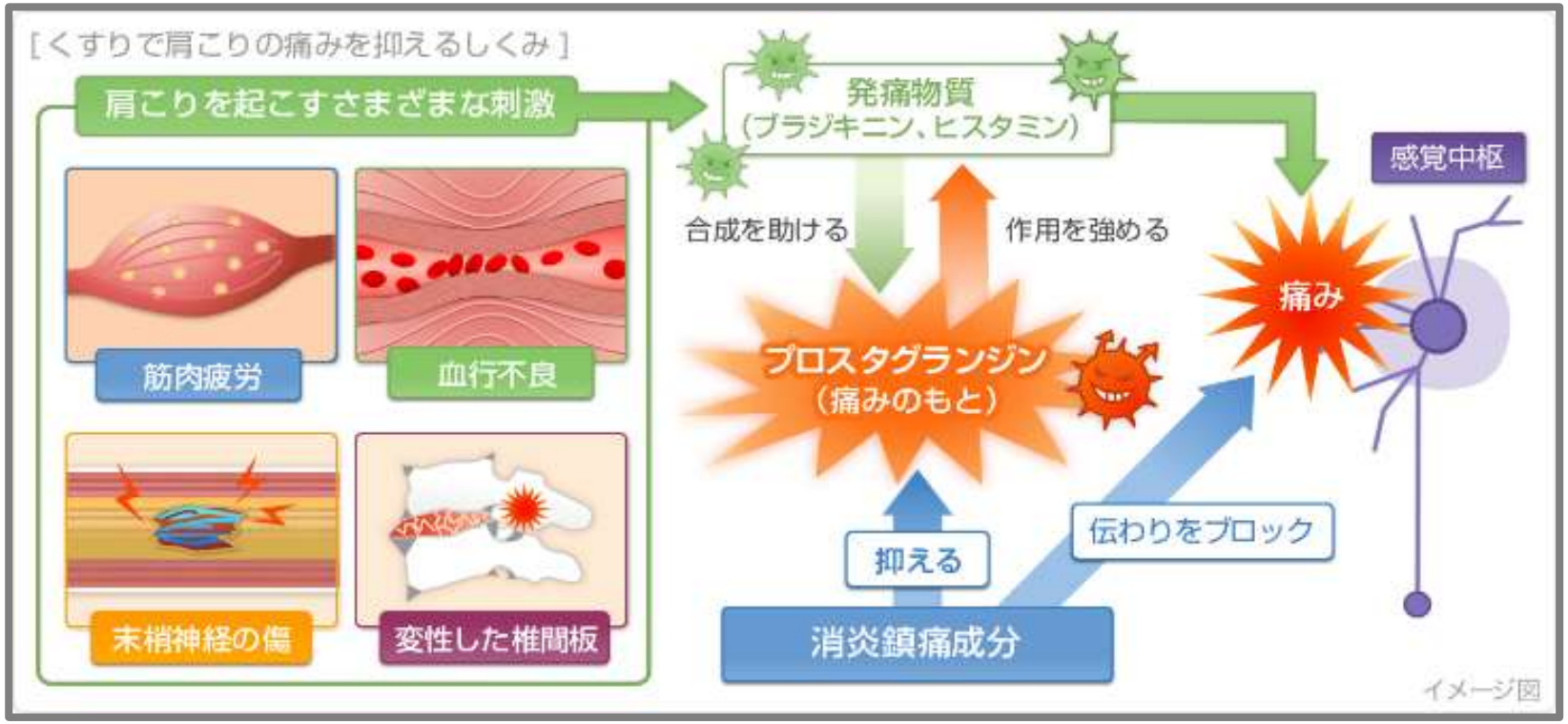
■痛み・炎症を抑えるしくみ（ロキソニンEXシリーズ処方）

肩こりなどによる刺激で痛みを起こす物質（**発痛物質**）が作られ、感覚中枢に作用して痛みを起こす。
この時、**プロスタグランジン**が作られ、炎症を起こしたり、シナプス（神経終末）に作用して痛みを増強させる。
痛みがあるとその部分が緊張してしまい、また筋肉が硬くなってこりを繰り返してしまう。
消炎鎮痛成分を配合した外用薬は、痛みを初期の段階で抑え、痛みの悪循環を防げる。

非ステロイド性抗炎症成分
ロキソプロフェンナトリウム
消炎鎮痛作用

鎮痛補助成分
l-メントール
局所冷感刺激作用

血行促進成分
※トコフェロール酢酸エステル
末梢循環血流改善作用



※ロキソニンEXテープ・テープLのみ ロキソニン外用薬シリーズとして

■用法用量の注意（ロキソニン外用薬シリーズ）

全アイテム：15歳未満使用不可

【テープおよびパップ】

表面のライナー（フィルム）をはがし、1日1回患部に貼付して下さい。

1日制限枚数

Sテープ＆EXテープ ⇒ 4枚

SテープL＆EXテープL＆Sパップ ⇒ 2枚

【ゲルおよびローション】

1日3～4回、適量を患部に塗擦して下さい。

・ **ゲル 1回あたり8cm（約2g）**

1週間あたり50gを超えて使用しないで下さい。

・ **ローション 1回あたり約2g（塗布面積：手のひら約10枚分）**

1週間あたり50gを超えて使用しないで下さい。

連続して2週間以上使用しないでください。本剤は、痛みを一時的におさえるものです。
また、5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、受診してください。

■ジクロフェナク製剤・フェルビナク製剤・インドメタシン製剤

ロキソプロフェン製剤同様、痛みや炎症のもとなる**プロスタグランジンの生成を抑制**し、炎症を抑え、痛みを緩和する。
一般的に、**サリチル酸系よりも鎮痛消炎効果が高い**。
15歳未満の使用が出来ない。（インドメタシン製剤の一部は11歳以上使用可）

成分	主な商品
ジクロフェナク製剤	フェイタスZαジクサス（テープ、シップ、温感、ゲル） ボルタレン（テープ、ゲル、ローション、スプレー）
フェルビナク製剤	フェイタス5.0 （テープ、シップ、温感、ローション、ゲル、チック、クリーム）
インドメタシン製剤	バンテリンコーワ （クリーミィーゲル、クリーム、ゲル、液、エアロゲル パット、パップ、温感）

参考：PMDA

■サリチル酸系製剤

局所刺激により適用部位及びその深部の血流を改善し、炎症、痛みを緩和する。
筋肉が緊張して生じる痛みに対して、軽度～中等度であれば十分に効果が期待できる。
アスピリン喘息を誘発するリスクは、極めて小さいとされている。 **年齢制限がない。**

主な商品

パテックス　うすぴたシップ
パテックス　うすぴたシップEX
のびのびサロンシップ
サロンパス
サロメチール
パスタイムA





パテックス　うすぴたシップEX使用説明書

特　　徴

無臭性・無香料でニオイも気にならず、しかも衣服から透けにくいベージュ色なので、貼っていても目立たない冷感シップです。

使用上の注意

してはいけないこと
（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）
次の部位には使用しないで下さい。
(1) 目の周囲、粘膜等
(2) しっしん、かぶれ、傷口

相談すること
1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症　状
皮　膚	発疹・発赤、かゆみ

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

用法・用量

そのまま、または適当な大きさに切り、表面のフィルムをはがし、1日1～2回患部に貼付して下さい。
〈用法・用量に関連する注意〉(1)用法・用量を厳守して下さい。
(2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
(3)汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭きとってから使用して下さい。

成分・分量（膏体100g中）

成　分	分　量	はたらき
サリチル酸グリコール	2g	炎症をおさえ、痛みをやわらげます。
アルニカチンキ	1mL（原生薬として0.2g相当）	

添加物：l-メントール、グリセリン、D-ソルビトール、ポリソルベート80、カルメロースNa、カオリン、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ポリアクリル酸部分中和物、ケイ酸アルミン酸Mg、pH調節剤、エデト酸Na、その他1成分
[1枚サイズ 10cm×14cm]
※本剤は生薬を配合しておりますので、色調が多少異なることもありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
(2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
(3)他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります）
(4)品質保持のため、開封後の未使用分は袋に入れ、袋のチャックをきちんと閉めて保管して下さい。
(5)表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

参考：PMDA

■販売ポイント

1:誰が使うのか



▪ 年齢制限で使用できる成分が限られる

成分	年齢制限
ケトプロフェン	15歳以上
ピロキシカム	
ジクロフェナク	
ロキソプロフェン	
フェルビナク	
インドメタシン	15歳以上 （※**一部、11歳以上**） サロンパスEX バンテリンコーワ液EX/クリームEX
サリチル酸メチル	年齢制限なし
サリチル酸グリコール	年齢制限なし



キュウメタシンパップH
11歳から使用できます。
※トウガラシエキス配合の**温かいタイプ**
インドメタシン**0.375%**配合

▪ 妊娠中または妊娠していると思われる方

※**ジクロフェナク/フェルビナク/ケトプロフェン　「してはいけないこと」**
（守らないと現在の症状が悪化したり，副作用が起こりやすくなります）

※**インドメタシン/ロキソプロフェン　「相談すること」**

妊娠中の使用に関する安全性は確立していません。
妊娠又は妊娠していると思われる方は、医師、薬剤師または
登録販売者に相談のうえ使用してください。
一般的に薬剤に対する感受性が高まり、副作用が強く発現する場合がある。

※**サリチル酸メチル/グリコール配合製品は使用できる。添付文書記載なし**
（**パテックス　うすぴたシップ**は使用可）

▪ 授乳中の方

授乳中の湿布薬はほとんど心配なく使えますが、1日にあまりたくさん貼ると薬の成分が過剰に体に取り込まれることで悪影響が出たり、長時間貼り続けることで皮膚がかぶれたりすることもありますので**適正使用**の**注意喚起**をお願いします。

参考：PMDA

■販売ポイント





2:原因と痛み出したのは何時からか

OTC外用鎮痛消炎薬は、**打撲**や**捻挫**などの**ケガによる痛み**、**腰**や**ひざ・肩**などの**関節の痛み**を和らげる目的で使用するもの。
あくまで痛みなどの症状を一時的に抑える**対症療法**に用いる。

▪受診勧奨が必要な痛み

A：**広範囲に漠然とした痛み**がある。 痛みの場所があいまい。 **痛む部分を押しても痛みが強まらない**。
心筋梗塞などの虚血性心疾患では、胸が痛むの一般的ですが、下顎や歯・顔面への痛み・しびれ・違和感として現れることがある。（**放散痛**）

B：**発熱**、**体重減少**などの**全身症状**を伴っている痛み。
「腰痛」や「関節痛」に発熱などの全身症状を伴う場合、**感染症**や**悪性腫瘍**を疑う必要がある。

C：**脚やお尻が痺れて痛い**。
脊髄圧迫による神経症状の可能性がある。麻痺が進行すると回復不能になる恐れがあるため、早めの受診勧奨が必要。

D：**痛みが時間経過とともに軽快しない**。
OTCで対応できる**骨格筋痛は、時間経過とともに軽快していく**。
１週間経っても痛みが軽快しない、2週間経っても痛みが治まらない場合は、他の原因を疑い受診勧奨を促す。

■販売ポイント

3:基礎疾患などがあるか

OTC外用鎮痛消炎薬の販売にあたっては「**喘息**」の基礎疾患に注意する。
内服薬の**NSAIDs（非ステロイド性抗炎症薬）**と同様**使用を避ける**。

▪アスピリン喘息（薬に対するアレルギー反応）

喘息のうち、**解熱鎮痛剤で発作が誘発される喘息**のことで、成人喘息患者の**約10人に1人**にみられる。

原因となる医薬品を服用して**短時間**で、**鼻水・鼻づまりが起こり、次に咳、喘鳴（ゼーゼーやヒューヒュー）、呼吸困難**が出現し、徐々にあるいは急速に悪化。意識がなくなったり、窒息したりする危険性もあり、時に顔面の紅潮や吐気、腹痛、下痢などを伴います。

合併症を起こさない限り、**原因となった医薬品が体内から消失すれば症状はなくなる。**





NSAIDsを含有する商品の添付文書に注意喚起が記されている。（禁忌）

■販売ポイント

4:剤形の好みがあるか

剤形	長所	短所	適した状況
パップ	水分の気化熱で患部を**冷やす**	薬が**分厚く目立つ**、**はがれやすい**	**腫れて熱を持っている痛み**、筋肉痛
プラスター（テープ）	**薄く、伸縮性・粘着性**に優れている	ひんやりとした清涼感は得られない	**関節などよく動かす部位**
エアゾール	広範囲を**瞬間的に冷却**できる	連続噴射は凍傷の原因になる	スポーツ時のケガや**クールダウン**
クリーム	**マッサージしながら塗布**できる	**ベタつき**があり、使用感が良くない	**筋肉の緊張やコリ**
ゲル	**ベタつかない**	皮膚表面に残る、刺激がある	**使用感を**優先したいとき
液	**広い範囲**に塗布しやすい	刺激がある、汗などで**取れやすい**	**広範囲**に使用したいとき
チック	**手を汚さず塗布**できる	商品が大型化しやすい	**手で塗りにくい部位**の痛み
温感タイプ	温感があり、**血行を促進**する	入浴時に刺激を感じることがある	冷えによる痛み・コリ、**慢性的な痛み**



ご清聴ありがとうございました！

お客様の症状を確認し、
最適な薬をおすすめしましょう！